



9 番  
伊藤 厳 悟 議員

**萩原庁舎跡地に図書館を建設し教育環境の充実を**

①萩原庁舎の跡地に図書館を建設し、若者子ども達に夢と希望を与えてはどうか。益田清風高校などとも一体となった学習の場としての拠点、教育環境の充実を図る考えは。

◆副市長

市としては、萩原庁舎の跡地を職員の駐車場にしたいと考えています。また休日は萩原地域のイベントに使っていただくよう考えています。図書館は夢もあり、そこから生まれるものも大きいものがあります。しかし図書館の建設については、今ある図書館の充実を図りながら、どのようにしたら利用していただけるかも含め、中長期的に考えていく必要があります。②皆で材を出し合い、皆の思いをのせた「木造の図書館」を。

◆教育長

明治5年の学制発布の時、反対の議論もあったが、それぞれの地域で土地を出し合い、建物用の木を出すと言ったことで、それぞれが努力をされた経緯があることと合わせ、議員

の提案は非常に高邁な志と受け取りました。教育については100年の計ということもあり、今後議論するところではないかと思えます。③若者の減少を食い止め、若者流出を防ぐため、将来に向けて図書館が必要だと思いが。

◆市長

萩原町の街中は高校もあり教育の中心的位置づけにあると思います。人口流出の主な年代層は学生が市外に出て行くことです。高校だけでなく短大や大学があれば人口は増えてくることも考えられます。そういう面から教育に力を入れることは人口流出を防ぐためにも大変重要であると考えます。今後政策として考えていきます。

◆マニフェストの実現について

①施政方針に触れられていない内容の実現に向けて。

◆市長

私が掲げた4つの基本政策と6つの政策実現にむけ、社会教育主事の配置をはじめ多くの事業を実施していきます。

②予算作成の全体バランスは副市長が取るべきです。

◆副市長

予算編成については総合計画が基にありその計画を軸とし、市長のマニフェストに沿った指示を組み込み、担当部の意向も聞きながら調整していきます。



12 番  
中島 新 吾 議員  
(日本共産党)

**市民の願いに応える公約実現をすすめて**

市長にとって新年度予算は、市民の願いに応える公約実現をすすめる責任がある。昨年6月の問責決議は市民や議会と相談しながら公約実現をすすめることが柱。財源を含めて基本的な考え方を問う。とりわけ具体的公約とした学校給食費の保護者負担の軽減について。

◆市長

マニフェストについては、任期中には達成していかなければならないと使命感を感じています。また学校給食費の保護者負担軽減については、子育て世代に向けた福祉政策のひとつとして掲げました。現実、給食費の保護者負担分を補助していくことが保護者にとっていいのか今一度確認をし、重点的に進めるところに特化しなければいけないと感じています。給食費滞納の部分をしっかり確認しながら、保護者が望んでおられるところに今後手当てをしていきます。次に財源についてですが、大型の事業があり、これ

までで最大の規模になりました。それとともに財政調整基金から14億6500万円繰り入れしています。基金も必要な時には有効に使ってほしいと思います。下呂市の皆さんが輝いて笑顔で過ごせるような政策の実現に向けて進めていきます。

**持続可能な市とするために、農林業と小規模経営をしっかりと位置付けて**

市長の「下呂の宝である農林業の課題改善」公約について、新年度予算における具体化は何か。中小企業・小規模事業者の振興に向けて、その基本条例制定について再度問う。

◆農林部長

農業の具体的予算は、以前から課題として掲げ取り組んでいる、農業就農人口を増やすための新規就農者の発掘と、農地を守っていく仕組みづくりとして集落営農の体制構築です。

◆観光商工部長

中小企業・小規模事業者への支援は、市と商工会と金融機関が連携をし、具体的に地道な取り組みを今後も続けていくことが最も大切と考えています。条例については他市の動向を踏まえ、所管の委員会に相談しながら、商工会とも協議をし、その効果を見極めて検討していきます。



6 番  
各務吉則 議員

## 下呂市の森づくり（森林整備）について

①市内にある人工林の適正管理について、手入れされていない人工林の把握と対策はどのようにされているのか。

### ◆農林部長

11年生から60年生の森林を10年に一度間伐する必要があるとした場合、1年間に全人工林で約2700ヘクタールの間伐を実施しなければなりません。市では集約化と、作業道を開設し高性能林業機械など生産性の高い機械を使用した、低コスト林業を進めています。

②林業振興を推進する上で、木材の生産から消費までが重要と考える。庁舎、振興事務所の耐震工事に併せて、内装などに地元産の木材を使用することはできないか。

### ◆総務部長

庁舎・振興事務所は耐火構造で法令による内装制限があり、原則燃えない材料を使用しなければなりません。法の適用範囲内で使用を検討しています。

③御嶽濁河高地トレーニングセンターの宿泊施設を岐阜県が新設すると聞いている。宿泊施設に地元産の木材を使用してもらうよう、岐阜県に対して要望することはできないか。

### ◆経営管理部長

宿泊施設のため建築基準法による制限がありますが、木材使用が可能な部分について、地元産の木材使用を県にお願いしていきます。

## 小坂診療所及び老人保健施設の充実について

①小坂老人保健施設の業務において、利用者の送迎を追加することは出来ないか。

### ◆福祉部長

介護を必要とされる家族の声として、入退所の送迎は必要なものと認識しています。地域のボランティアなど資源の発掘も含め検討していきます。

②小坂診療所の医師の確保は、どのようにされているか。

### ◆健康医療部長

市の派遣要望により、自治医科大学卒業の医師を県から2名派遣いただいております。次年度も市の要望どおり2名の派遣と聞いています。厳しい状況ですが常勤医師の確保について検討しています。



7 番  
宮川茂治 議員  
(日本共産党)

## 最終処分場の取り組みについて

①最終処分場の建設に向けて、地元の一部から反対意見があるが、どのように取り組んでいるのか。地元への対応は。

### ◆環境部長

地域の方からの反対意見については、現在のところ上原執行部会や建設検討委員会、そして市の方へも届けていません。今後もご意見があれば市で対応させていただきます。

②今後のスケジュールや取り組みの予定は。

### ◆市長

現在は、上原区執行部会と建設検討委員会の合同会議に環境部が出席をし、前向きな方向で協議を進めています。今後、地域の皆さまのご理解を得て、早急に協定書の締結ができるよう努力します。

③予定地には破砕帯（断層）があるが、調査はされているか。

### ◆環境部長

候補地から一番近い久野川断層までは直線で約760メートル離れており、断層の真上に存在するもので

はありません。候補地が決まりましたら強度面において十分検討を行い、安心で安全な施設の建設に向け最大限努力します。

④ダイオキシン対策はどのように計画されているか。

### ◆環境部長

最終処分場へ持ち込む前の焼却灰のダイオキシン類検査と、その焼却灰を埋め立てしている四美地内最終処分場の処理後の放流水の値は、いずれも過去10年間の基準値を超えたことは一度もありません。候補地の上原地域最終処分場においても、施工面、管理面において地元の皆さんと協議をしながら、安心で安全な施設の建設を行います。

## 高齢者対策について

老人ホームの入所待機者が多数あるが、その対応は。

### ◆福祉部長

平成27年度の介護保険制度の改正により、特別養護老人ホームへの入所については、要介護度3以上となったことから、入所待機者の数は制度改正前と比べ減少しています。また、あさぎり・かなやまサニールランドでは、より一層緊急（入所の必要性）の高い方から入所ができるよう、入所基準の見直しを行っています。



13 番  
中島達也 議員

**下呂市の空き家の現状と対策は**

急速な少子高齢化、人口減少に伴い空き家が増加している。一般的にその一部が地域住民の生活環境に影響を与える管理不全な状態にあると言われている。市内の空き家の現状をどう把握され、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

◆建設部長

自治会に空き家の情報提供をお願いしたところ、管理不全と思われる空き家が現在160件程あります。うち助言・指導を行ったものが26件、緊急安全措置をしたものが11件となっています。平成29年度から管理不全な空き家だけではなく、空き家の利活用も含めた、空き家等対策協議会の設置を検討しています。

**下呂市指定金融機関の交代について**

昨年10月、公金収納や支払い事務の窓口となる指定金融機関の交代がありました。スムーズに業務移行されたか伺います。また監査委員より指摘の、報償費等支払い

遅延について、庁内ルール化などの再発防止策を伺います。

◆会計管理者

交代までには約1年半の期間があり、金融機関との契約や支払データの振込テスト、双方の金融機関での業務の引き継ぎなどを綿密に行いましたので、トラブルもなくスムーズに業務を移行しています。

◆総務部長

監査委員ご指摘の通り、要綱の見直しと合わせ、遅延防止の徹底に努めます。

**新年度予算と行政運営について**

①濃飛横断自動車道について、期成同盟会会長として積極的な取り組みは。

◆市長

下呂市は高速道路の空白地帯であることから、濃飛横断自動車道整備については、最重要で取り組んでいきます。

②ふるさと納税の状況と政策的な取り組みは。

◆経営管理部長

ふるさと寄付金の2月末までの寄付件数は1661件、昨年度の2.3倍、寄付金額は3364万円、昨年度の1.9倍となっています。現在返礼品として提供している特産品メニューは83点です。これも前年度より21点の増となっており、市内の多くの業者に様々なメニューを提供頂いています。



10 番  
一木良一 議員

**小坂町大島谷橋整備計画について**

実施に向けスタートを。

◆建設部長

平成29年度の予算で、大島谷橋梁整備の設計業務2200万円を計上しています。事業期間は、平成29年度から平成32年度までの4年間を予定しています。国費の配分状況により、事業が遅れることもありそうです。ご理解ください。

**有害鳥獣処理施設について**

現状と今後の見通しは。

◆農林部長

丸ごと処理できる方法として、処理技術の検証を現在も進めているところです。施設を整備するとなれば、法令順守や環境基準に添った施設でなければ、設置にあたって地元の承諾は得られませんが、環境基準に適合するか否か、よく調査する必要がありますので、その結果も踏まえつつ、また総体的な費用面についても比較検討して、後世の負担とならないように事業計画を進めます。

◆副市長

どの施設にするのか選択方法だ

けでなく他の選択肢も考えています。ランニングコストなどを全て比較し、29年度に入ってから速やかに方向付けをしていきたいと思っています。基準値になるものが出てきた段階で検討します。

**橋梁長寿命化、耐震化計画について**

進捗状況について。

◆建設部長

平成20年度から橋梁長寿命化計画を策定し、市道に架かる15桁以上の橋梁141橋を対象に実施した調査を基に、平成23年度に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。この計画に基づき平成24年度から、橋梁長寿命化修繕工事に取り組んでいます。平成31年度までに25橋が整備できるよう事業を推進しているところです。

**下呂市組織の再編について**

安心安全専門員配置について。

◆総務部長

新年度から市長公室に「危機管理課」を設置することに伴い、この課に「安心安全専門員」として警察官OBを採用します。警察官としての長年の経験をいかし、特に防犯や交通安全、さらには警察署との連携などに力を発揮して頂く予定です。